

ちたしん 地域経済レポート

No.29
R6 春号

知多半島の経済動向(令和6年1月～3月を中心に)

業況判断予想(P.1)



4～6月の業況判断予想は
知多半島北部・南部は改善
中部は悪化

レポート目次

- | | |
|----------------------------|------|
| 1. 景況天気図(知多半島業況判断D.I.) | P.1 |
| 2. 製造業 | P.3 |
| 3. 建設業 | P.4 |
| 4. 不動産業 | P.6 |
| 5. 卸・小売業 | P.8 |
| 6. 飲食・宿泊業 | P.10 |
| 7. 運輸業 | P.11 |
| 8. サービス業 | P.12 |
| 9. 起業・創業、スタートアップ企業の多い地域の特徴 | P.13 |

主な経済指標の動き



先行指標

- 春号掲載の先行指標(経済動向に先駆けて動く数値)は下記の通り
- ・ 知多半島業況判断D.I.: $\Delta 2.9$ (1～3月期見通し) P.1
 - ・ 新設住宅着工戸数(知多半島合計): 303戸(1月) P.4



一致指標

- 春号掲載の一致指標(経済動向に一致して動く数値)は下記の通り
- ・ 鉱工業生産指数(原指数 愛知県): 101.2(12月) P.3
 - ・ 輸出入通関実績(中部国際空港): 貿易収支7,083百万円(2月) P.9



遅行指標

- 春号掲載の遅行指標(経済動向に遅れて動く数値)は下記の通り
- ・ 名古屋消費者物価指数(総合) 107.0(2月) P.8



ふれあい地元とともに

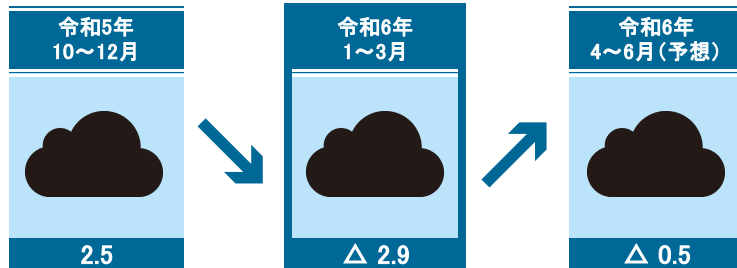
知多信用金庫

1

景況天気図(知多半島業況判断D.I.)

令和6年
1～3月
業況見通し令和6年
4～6月
業況予想

～物価高と賃上げが及ぼす景気への影響～



知多半島の令和6年1～3月の業況判断見通しD.I.は△2.9と前四半期比5.4ポイント悪化。令和6年4～6月は業況判断予想D.I.が△0.5と改善予想。「インボイス、セキュリティ対策など必要な所に対策がされておらず、経費増大、売上減少。景気が上がるはずがない」(製造業)、「横ばいで良くならない」(製造業)など景気回復を感じているという意見は少なかった。また、政府主導の賃上げ要請については「大手企業は給料を簡単に上げられるが中小零細企業はそんなに簡単に上げられない。」(製造業)との意見がある中、「賃上げのニュースが出たので外食に期待する」(飲食・宿泊)と賃上げの好影響に期待する意見もあった。

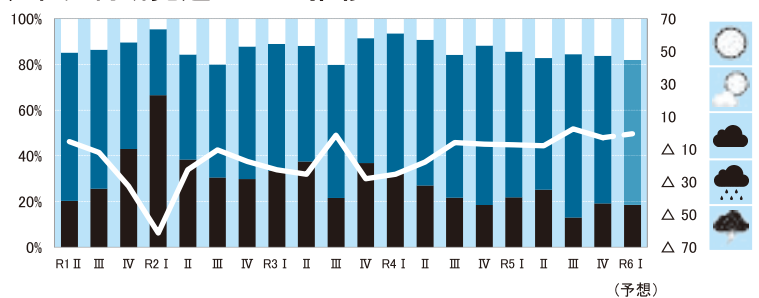
※知多信用金庫のお客さまにご協力頂いた
下記アンケートの集計結果を掲載しています。

- ◆実施期間 R6.3.1～6.3.15
- ◆実施方法 紙面又は口頭
- ◆アンケート実施先数 214先
- ◆回答数 209(回答率97.7%)
- ◆実施事業所の業種構成割合

	件数	割合
建設	40	19.1%
不動産	9	4.3%
飲食・宿泊	16	7.7%
製造	62	29.7%
運輸	10	4.8%
卸・小売	40	19.1%
サービス	30	14.4%
その他・不明	2	1.0%
合計	209	100.0%

令和6年4～6月
知多半島の業況判断予想

◇業況判断見通しD.I.の推移

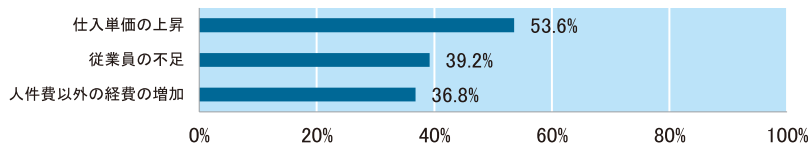


各種D. I.

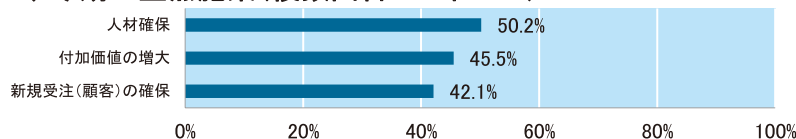
前期 今期 来期

	II	III	IV	R5 I	II	III	IV	R6 I
売上	△ 13.0	3.4	△ 0.5	△ 1.5	△ 2.5	9.5	△ 2.4	1.9
収益	△ 24.2	△ 18.6	△ 18.4	△ 16.1	△ 16.8	△ 6.0	△ 12.9	△ 7.2
販売単価	9.7	12.7	14.6	11.7	15.3	13.9	11.5	12.4
仕入単価	△ 69.1	△ 69.6	△ 61.7	△ 59.5	△ 52.0	△ 48.8	△ 47.4	△ 38.8
在庫	3.9	2.0	0.0	△ 1.5	△ 3.5	△ 1.5	△ 2.9	△ 2.9
資金繰り	△ 10.6	△ 5.4	△ 15.5	△ 8.3	△ 10.4	△ 12.9	△ 6.7	△ 4.8

◇経営上の問題点(複数回答／上位3つ)



◇今期の重点施策(複数回答／上位3つ)



業況判断D.I.を示すお天気マークの見方

D. I.

△30未満

△10未満

10以上

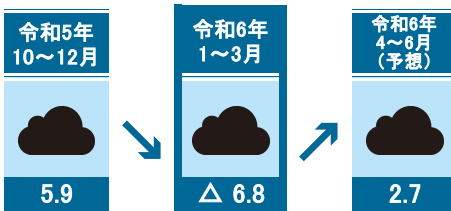
30以上

※(業況判断)D.I. 業況等が「良い」と回答した割合から「悪い」と回答した割合を引いたもの。

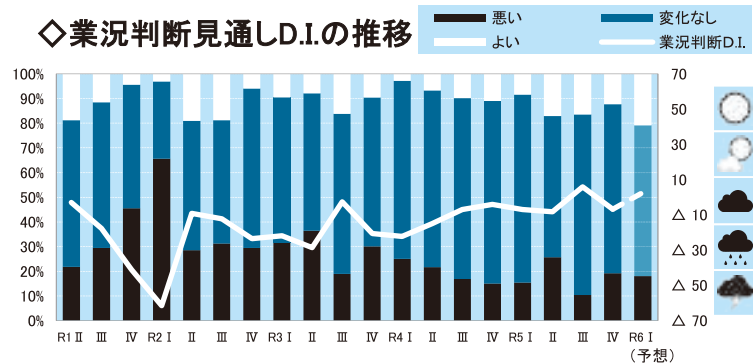
◇知多半島北部

名古屋市南区、
緑区、東海市、
大府市、知多市、
東浦町、阿久比町

回答数 73
製造業 26.0%
非製造業 74.0%



◇業況判断見通しD.I.の推移

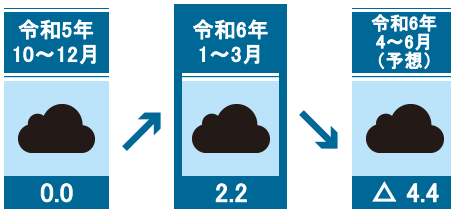


業況判断見通しD.I.は△6.8と前四半期比12.7ポイント悪化。業況判断予想D.I.は2.7と改善予想。
「物価が上昇しており非常に厳しい」(製造業)、「現状変化なしです」(建設業)との意見がある中で、「昨年12月から少し良くなった様な気がする。」(飲食・宿泊)と一部の事業者は景気の回復を感じている様子であった。

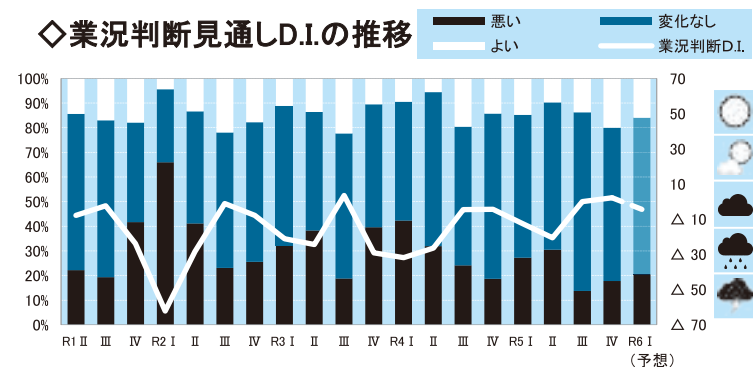
◇知多半島中部

常滑市、半田市

回答数 90
製造業 30.3%
非製造業 69.7%



◇業況判断見通しD.I.の推移

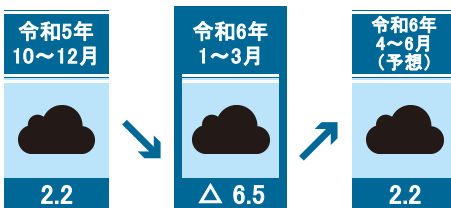


業況判断見通しD.I.は2.2と前四半期比2.2ポイント改善。業況判断予想D.I.は△4.4と悪化予想。
「仕入先より単価が値上がりするかもしれないという話が出てきている。取引先様から今期は後半までよくないという見通しがされているみたいです。」(卸・小売業)など今後の見通しが悪いとの意見が散見された。

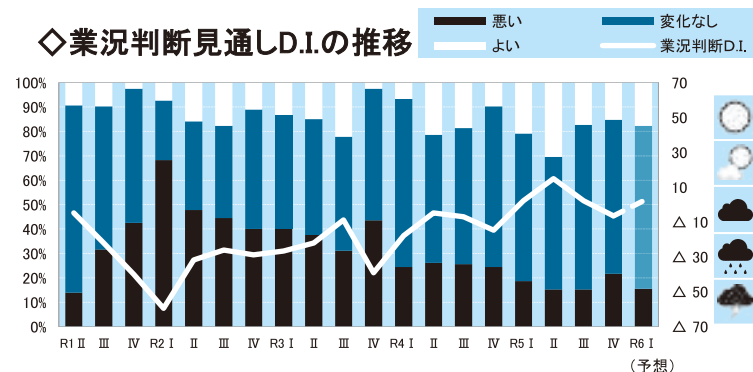
◇知多半島南部

武豊町、美浜町、
南知多町

回答数 46
製造業 34.8%
非製造業 65.2%



◇業況判断見通しD.I.の推移



業況判断見通しD.I.は△6.5と前四半期比8.7ポイント悪化。業況判断予想D.I.は2.2と改善予想。
「得意分野においては需要の伸びが見込めるがその分一般需要は減少しそう」(製造業)、「物価高」(サービス業)と景気の回復を感じている意見はなかった。

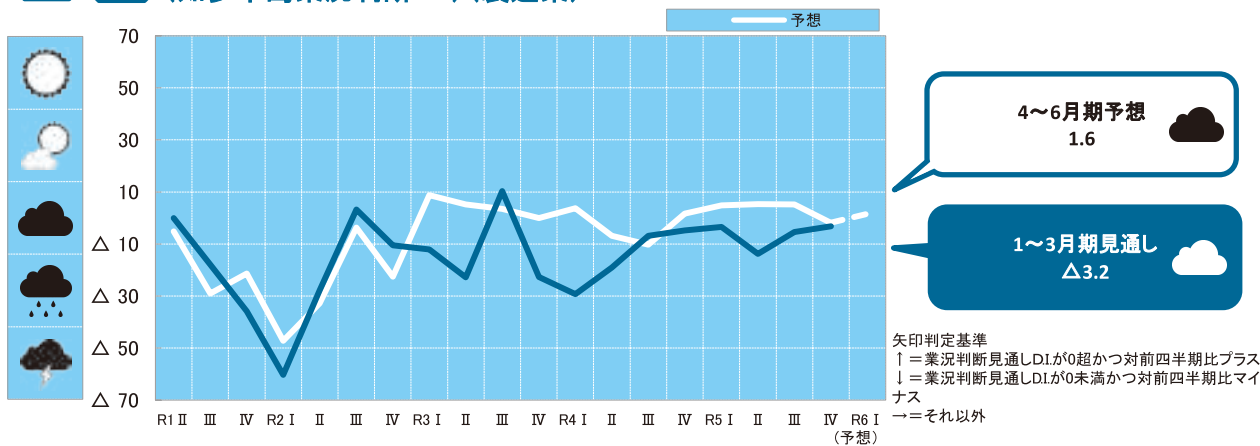


※矢印判定基準：知多半島業況判断見通しD.I.(製造業)に準じる



◇中小企業業況感 (知多半島業況判断D.I.)(製造業)

※ 矢印判定基準数値 1～3月期 知多半島業況判断見通しD.I.: $\Delta 3.2$
(0未満、対前四半期比2.2ポイント増)

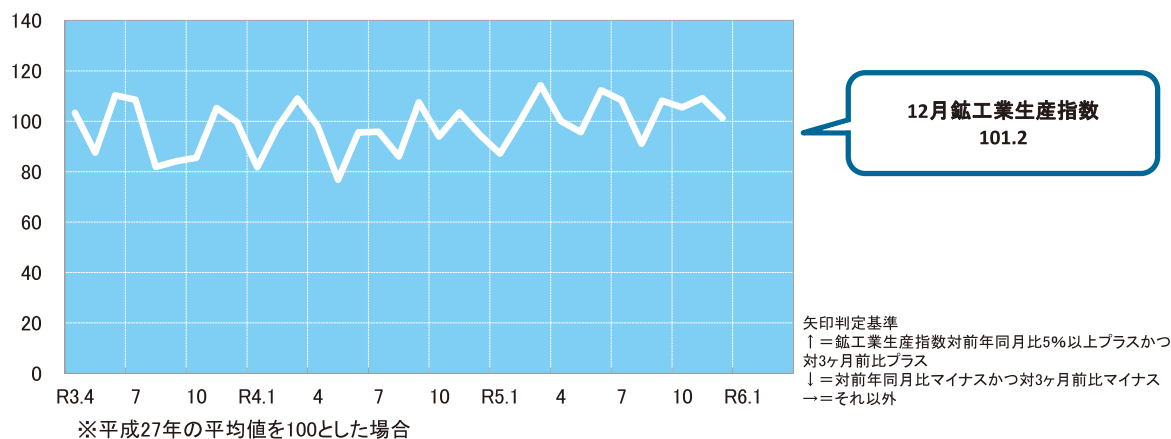


当金庫によるアンケート調査結果「知多半島業況判断D.I.」



◇鉱工業生産指数(原指数 愛知県)

※ 矢印判定基準数値 12月鉱工業生産指数: 101.2
(対前年同月比6.9%増、対3ヶ月前比6.4%減)

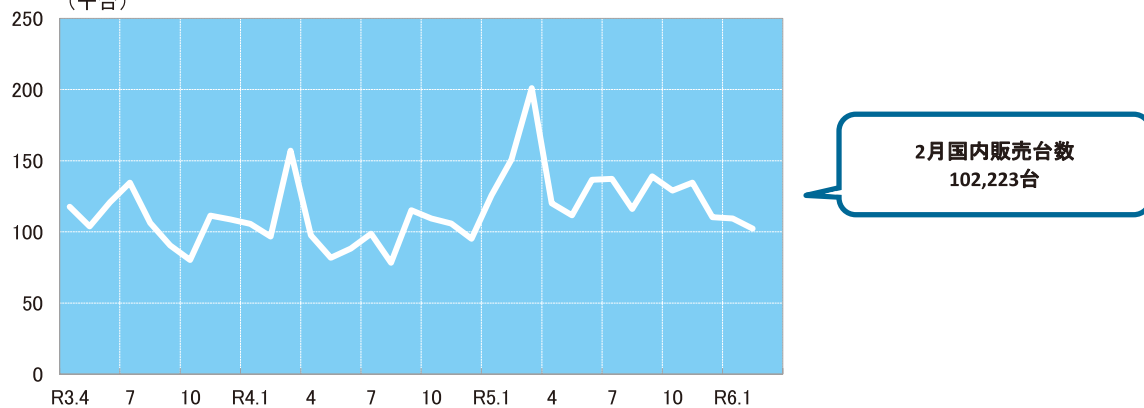


(出典)愛知県「愛知県鉱工業指数」



◇自動車国内販売(トヨタ)

(千台)



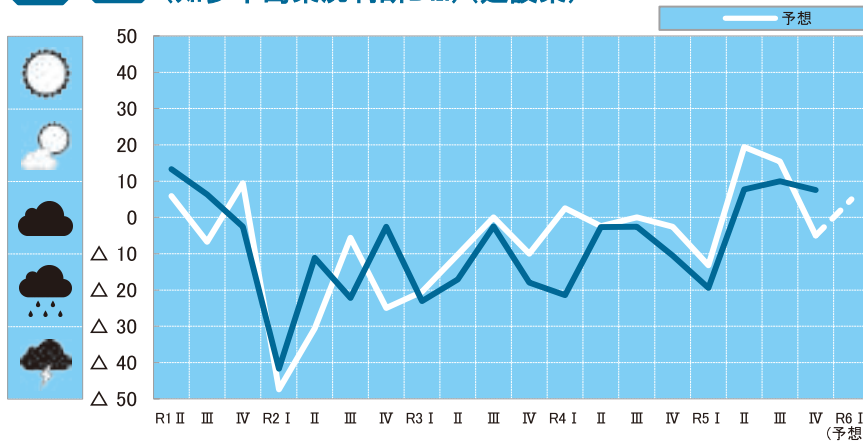
(出典)(社)日本自動車工業会・月別統計データ「メーカー別販売台数(登録車)」

※矢印判定基準：知多半島業況判断見通しD.I.(建設業)に準じる



◇中小企業業況感 (知多半島業況判断D.I.)(建設業)

※ 矢印判定基準数値 1～3月期 知多半島業況判断見通しD.I.: 7.5
(0超、対前四半期比2.5ポイント減)



1～3月期見通し
7.5

4～6月期予想
5.0

※矢印判定基準
↑＝業況判断見通しD.I.が0超かつ対前四半期比プラス
↓＝業況判断見通しD.I.が0未満かつ対前四半期比マイナス
→＝それ以外

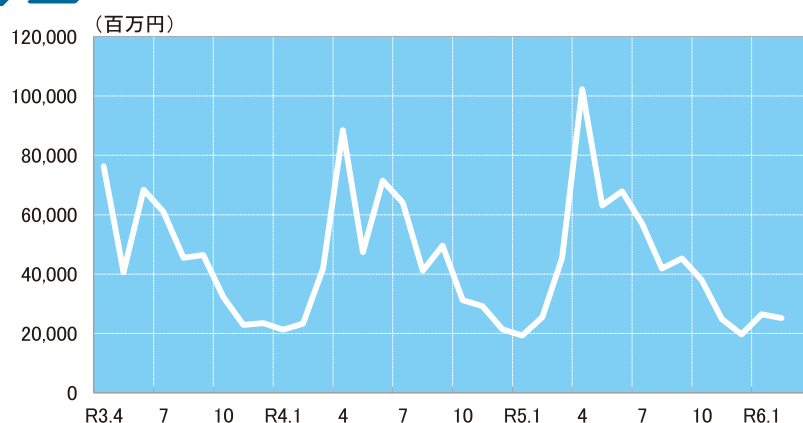
当金庫によるアンケート調査結果「知多半島業況判断D.I.」



◇公共工事請負金額(愛知県)

※ 矢印判定基準数値 2月 公共工事請負金額: 25,164百万円
累計金額511,492百万円

(累計金額対前年同月比4.7%増、
請負金額対3ヶ月前比251百万円増)



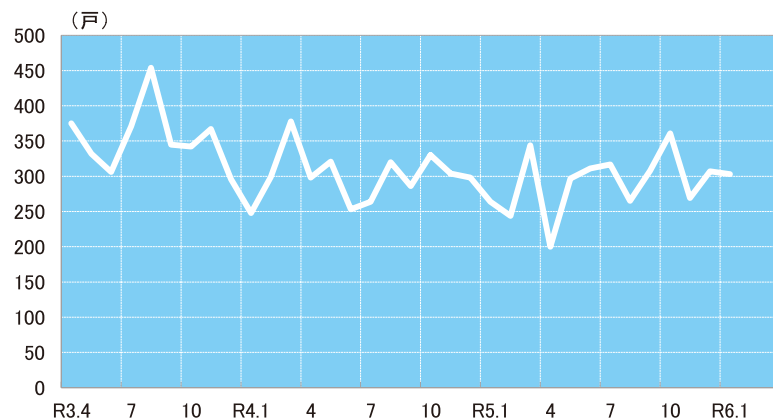
2月請負金額
25,164百万円

※矢印判定基準
↑＝公共工事請負金額累計対前年同月比3%以上プラスかつ公共工事請負金額の対3ヶ月前比プラス
↓＝公共工事請負金額累計対前年同月比マイナスかつ公共工事請負金額の対3ヶ月前比マイナス
→＝それ以外

(出典)東日本建設業保証(株)「公共工事の動向」



新設住宅着工戸数(知多半島合計)



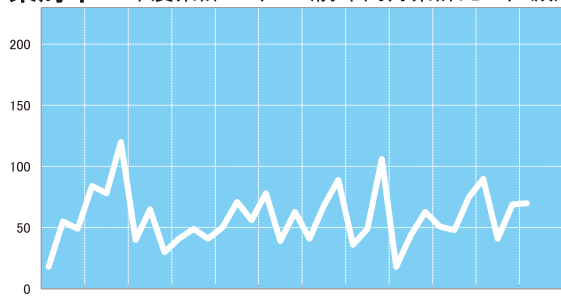
1月新設住宅着工戸数
303戸

(出典)政府統計の総合窓口「建築着工統計調査」

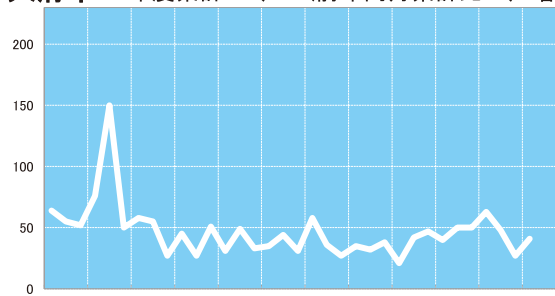
新設住宅着工戸数

令和6年1月末時点の
5市5町の新設住宅着工戸数

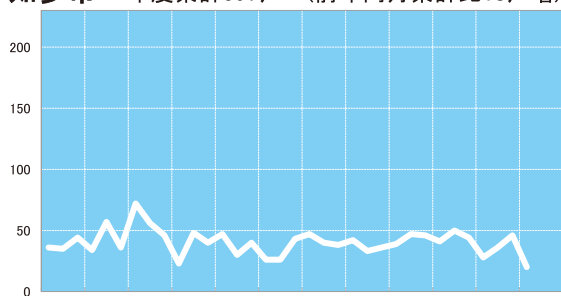
◇**東海市** 年度累計569戸（前年同月累計比22戸減）



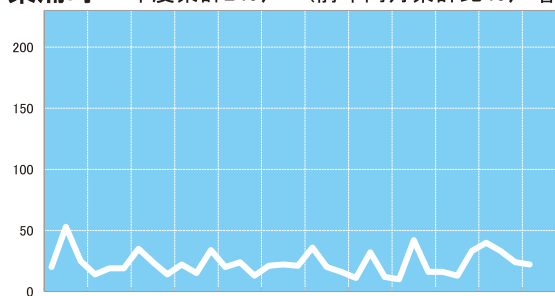
◇**大府市** 年度累計429戸（前年同月累計比50戸増）



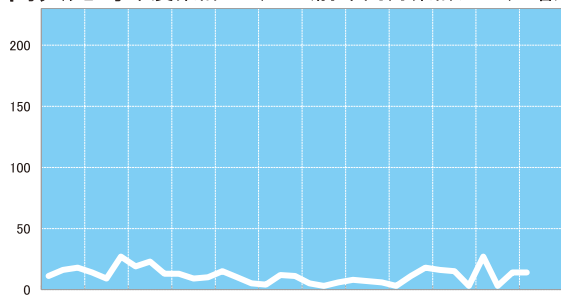
◇**知多市** 年度累計397戸（前年同月累計比18戸増）



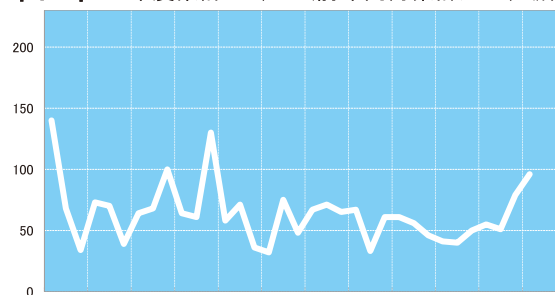
◇**東浦町** 年度累計249戸（前年同月累計比45戸増）



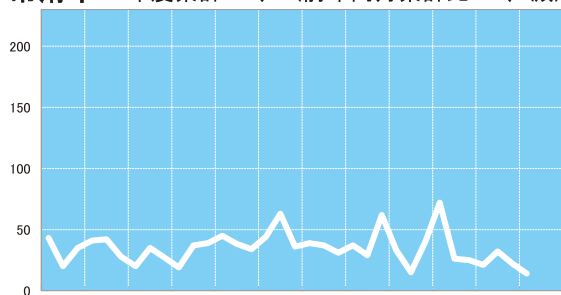
◇**阿久比町** 年度累計124戸（前年同月累計比45戸増）



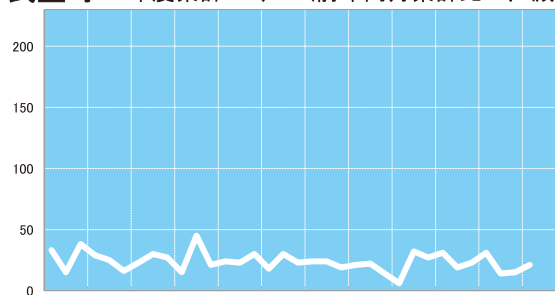
◇**半田市** 年度累計575戸（前年同月累計比15戸減）



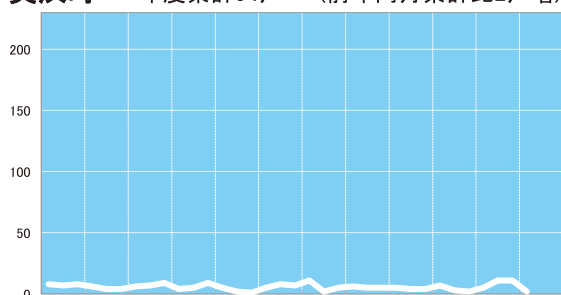
◇**常滑市** 年度累計300戸（前年同月累計比104戸減）



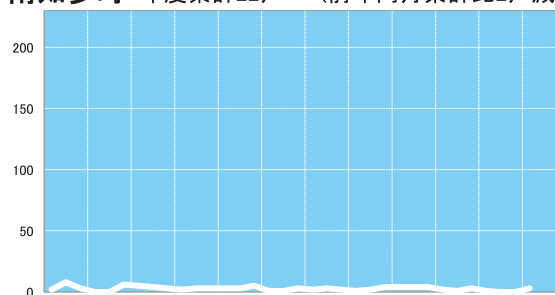
◇**武豊町** 年度累計219戸（前年同月累計比17戸減）



◇**美浜町** 年度累計54戸（前年同月累計比2戸増）



◇**南知多町** 年度累計22戸（前年同月累計比2戸減）



（出典）政府統計の総合窓口「建築着工統計調査」

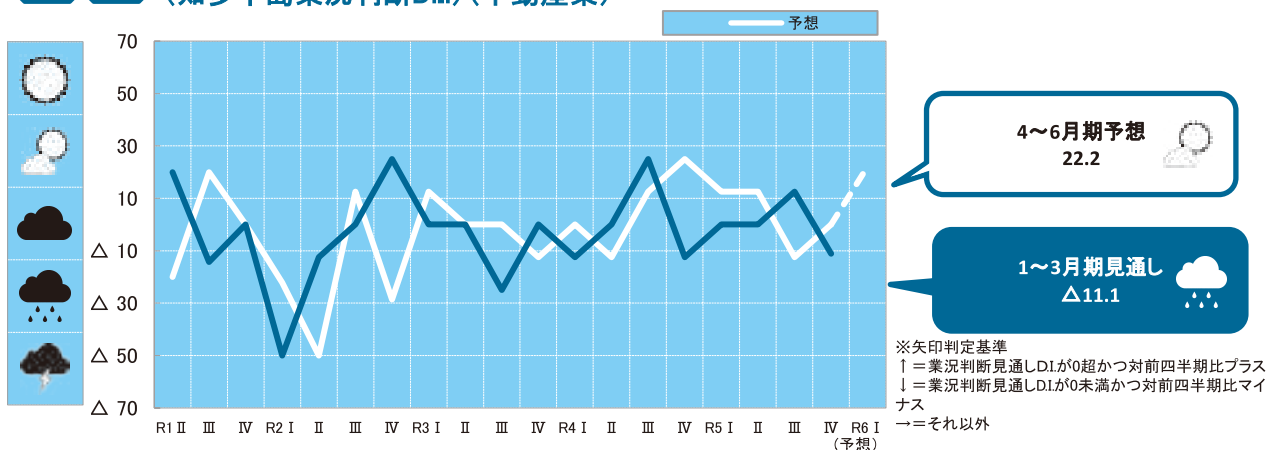


※矢印判定基準：知多半島業況判断見通しD.I.(不動産業)に準じる



◇中小企業業況感 (知多半島業況判断D.I.)(不動産業)

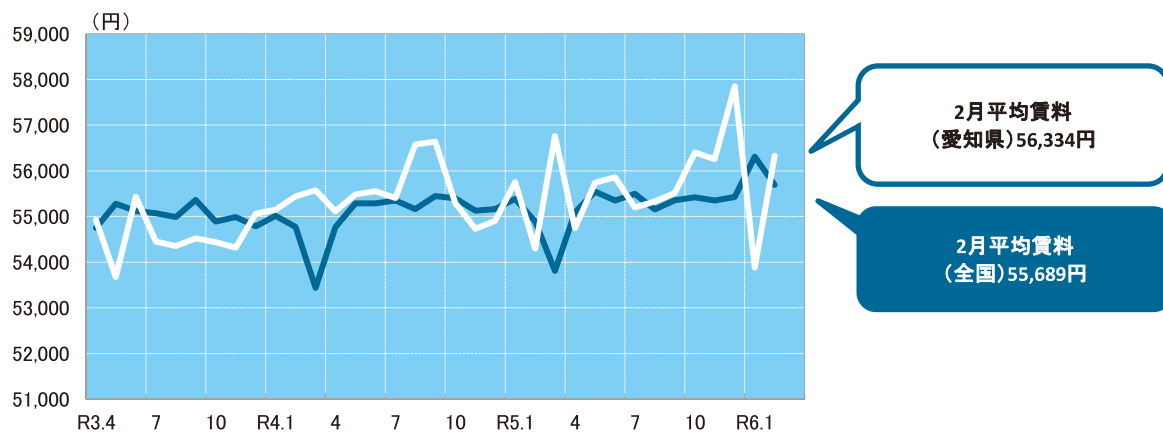
※ 矢印判定基準数値 1～3月期 知多半島業況判断見通しD.I.: △11.1
(0未満、対前四半期比23.6ポイント減)



当金庫によるアンケート調査結果「知多半島業況判断D.I.」



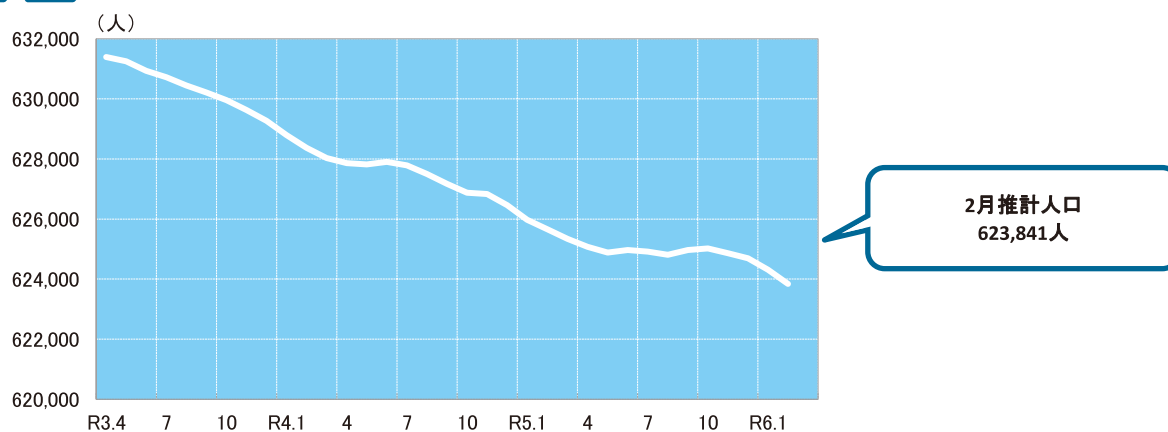
◇家賃(愛知県)



(出典) 全国賃貸管理ビジネス協会「全国家賃動向」



◇人口推移(知多半島合計)

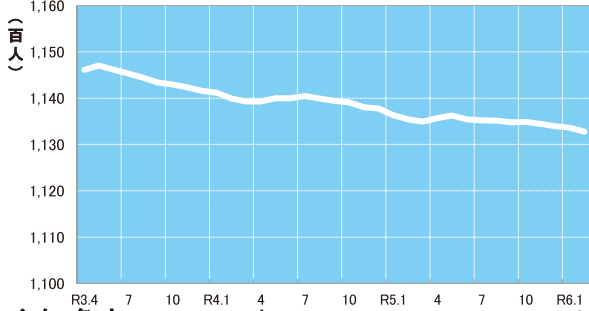


(出典) 各市町HPより

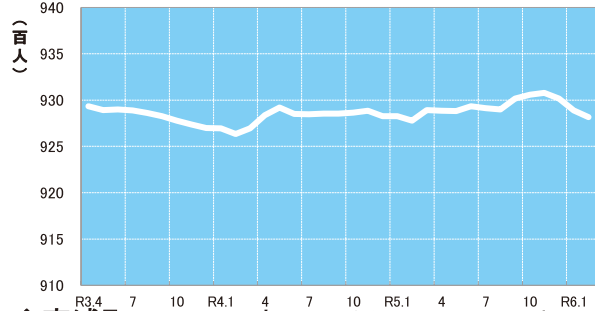
人口推移

令和6年2月時点の5市5町の推計人口

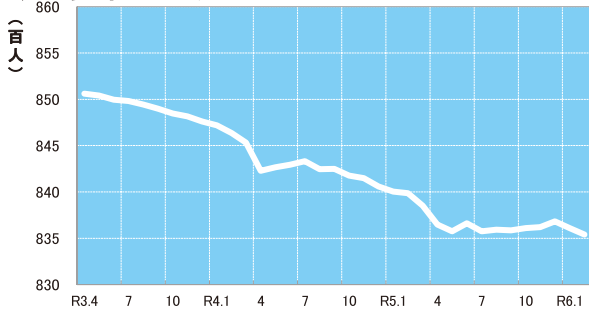
◇東海市 113,276人 (前年同月対比269人減)



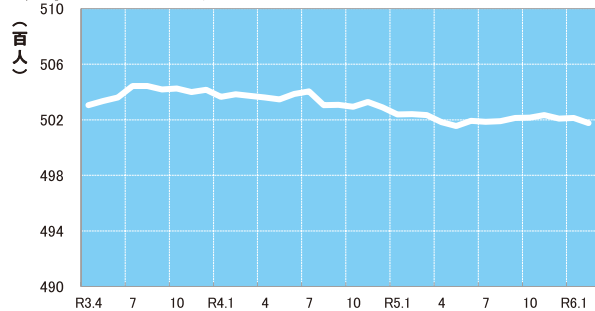
◇大府市 92,816人 (前年同月対比38人増)



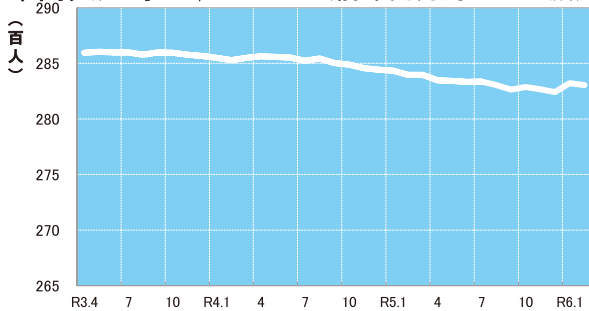
◇知多市 83,540人 (前年同月対比448人減)



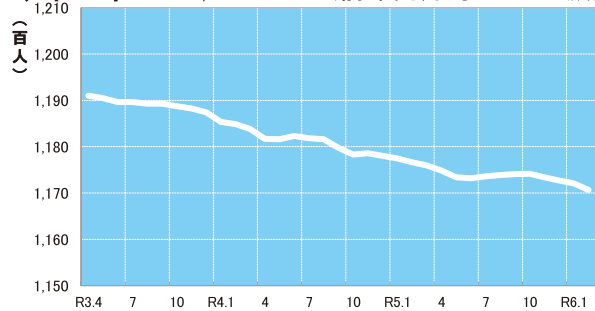
◇東浦町 50,176人 (前年同月対64人減)



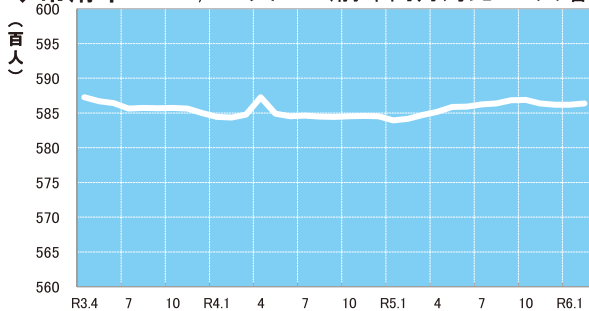
◇阿久比町 28,305人 (前年同月対比92人減)



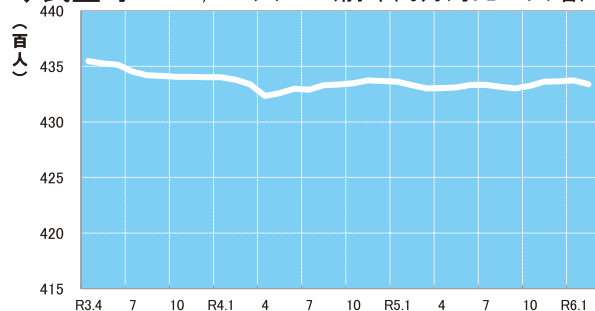
◇半田市 117,067人 (前年同月対比597人減)



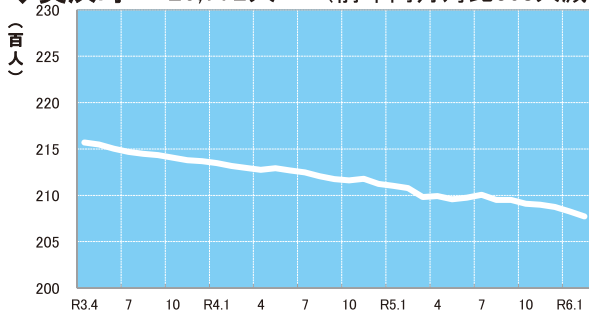
◇常滑市 58,636人 (前年同月対比219人増)



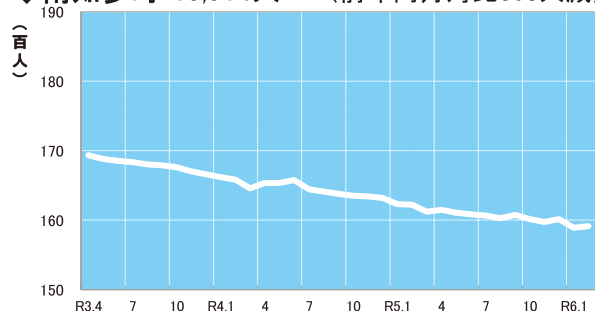
◇武豊町 43,339人 (前年同月対比10人増)



◇美浜町 20,772人 (前年同月対比308人減)



◇南知多町 15,914人 (前年同月対比308人減)



東海市、知多市、半田市、阿久比町、武豊町は各月1日基準
大府市、常滑市、東浦町、美浜町、南知多町は各月末日基準

(出典)各市町HPより

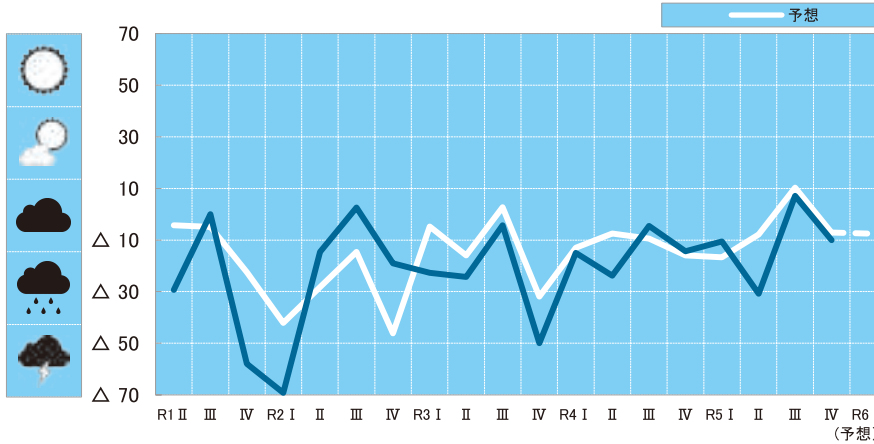


※矢印判定基準：知多半島業況判断見通しD.I.(卸・小売業)に準じる



◇中小企業業況感 (知多半島業況判断D.I.)(卸・小売業)

※ 矢印判定基準数値 1～3月期 知多半島業況判断見通しD.I.: △10.0
(0未満、対前四半期比17.1ポイント減)



4～6月期予想
△7.5

1～3月期見通し
△10.0

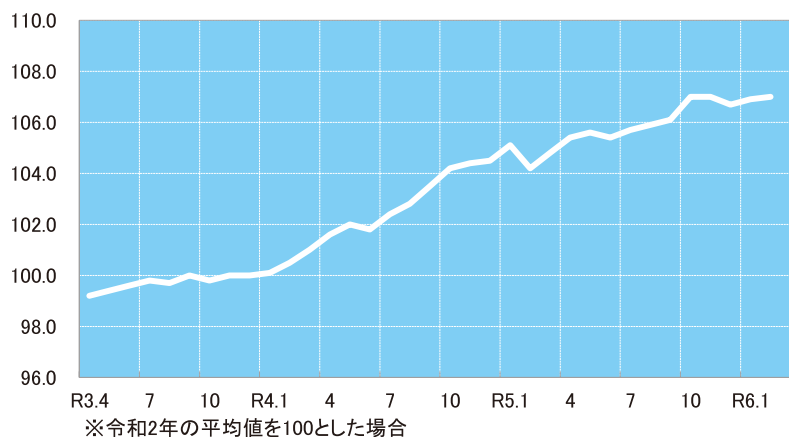
※矢印判定基準:
↑ = 業況判断見通しD.I.が0超かつ対前四半期比プラス
↓ = 業況判断見通しD.I.が0未満かつ対前四半期比マイナス
→ = それ以外

当金庫によるアンケート調査結果「知多半島業況判断D.I.」



◇名古屋市消費者物価指数(総合)

※ 矢印判定基準数値 2月 消費者物価指数: 107.0
(対前年同月比2.7%増、対3ヶ月比増減なし)



2月消費者物価指数
107.0

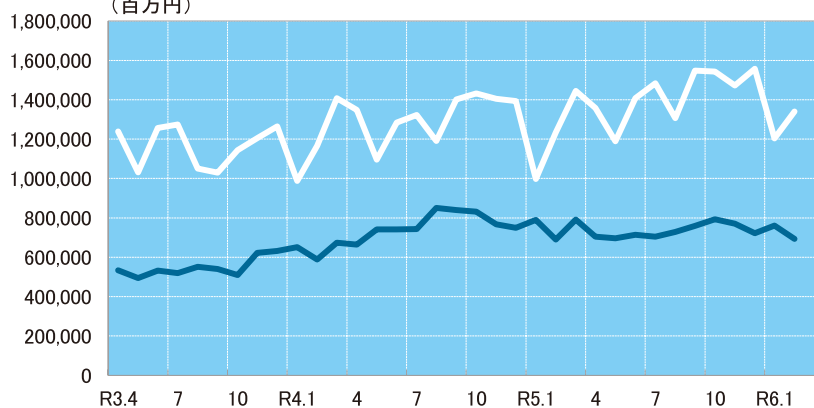
※矢印判定基準
↑ = 名古屋市消費者物価指数(総合)対前年同月比1%以上プラスかつ対3ヶ月比プラス
↓ = 対前年同月比マイナスかつ対3ヶ月比マイナス
→ = それ以外

(出典)愛知県「あいちの統計」



◇輸出入額 (名古屋港・中部国際空港・衣浦港合計) (百万円)

※ 矢印判定基準数値 2月輸出額: 1,340,983百万円 輸入額: 692,922百万円
(輸出: 対前年同月比8.7%増、対3ヶ月前比8.9%減
輸入: 対前年同月比0.5%増、対3ヶ月前比10.1%減)



2月輸出額
1,340,983百万円

2月輸入額
692,922万円

※矢印判定基準
↑ : 輸出入ともに対前年同月比5%以上プラスかつ対3ヶ月前比プラス
↓ : 輸出入ともに対前年同月比マイナスかつ対3ヶ月前比マイナス
→ : それ以外

※令和4年以前: 確定値、令和5年: 確々報値、令和6年: 輸出の1月分は確報値

(出典)名古屋税関「管内貿易概況」

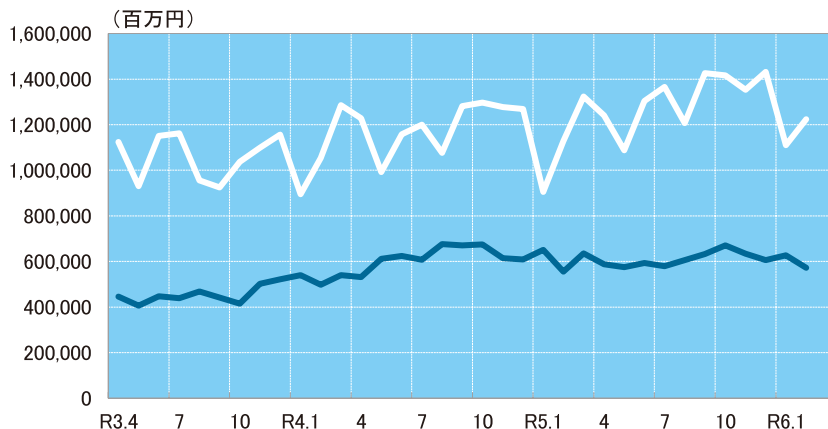
貿易概況

※令和4年以前:確定値、令和5年:確々報値、令和6年:輸出の1月分は確報値



◇輸出入額(名古屋港)

※ 矢印判定基準数値 2月輸出額:1,223,462百万円 輸入額:572,686百万円
(輸出:対前年同月比8.4%増、対3ヶ月前比9.6%減
輸入:対前年同月比3.1%増、対3ヶ月前比9.7%減)



2月輸出額
1,223,462百万円

2月輸入額
572,686百万円

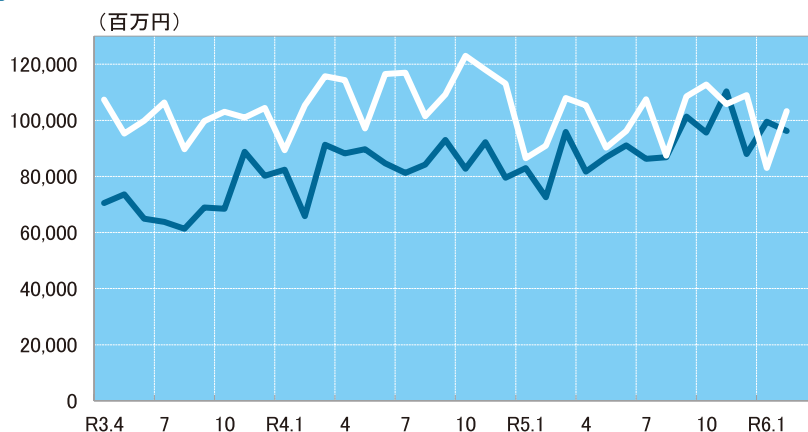
※矢印判定基準
↑:輸出入ともに対前年同月比5%以上プラスかつ対3ヶ月前比プラス
↓:輸出入ともに対前年同月比マイナスかつ対3ヶ月前比マイナス
→:それ以外

※貿易収支 2月 650,776 百万円



◇輸出入額(中部国際空港)

※ 矢印判定基準数値 2月輸出額:103,265百万円 輸入額:96,182百万円
(輸出:対前年同月比13.5%増、対3ヶ月前比2.4%減
輸入:対前年同月比32.5%増、対3ヶ月前比12.8%減)



2月輸出額
103,265百万円

2月輸入額
96,182百万円

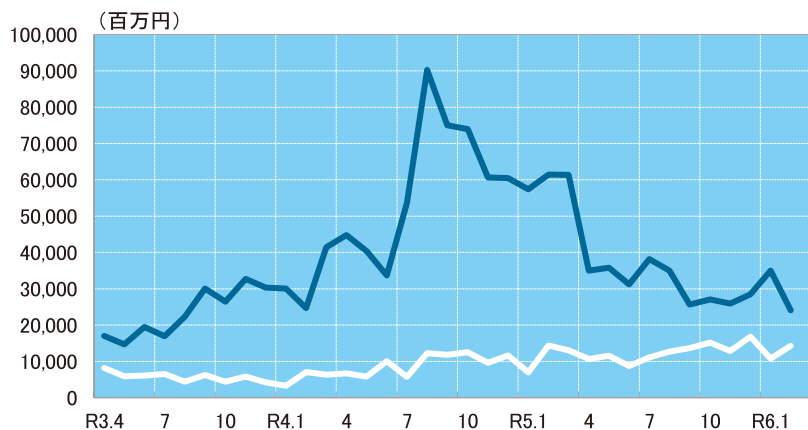
※矢印判定基準
↑:輸出入ともに対前年同月比5%以上プラスかつ対3ヶ月前比プラス
↓:輸出入ともに対前年同月比マイナスかつ対3ヶ月前比マイナス
→:それ以外

※貿易収支 2月 7,083 百万円



◇輸出入額(衣浦港)

※ 矢印判定基準数値 2月輸出額:14,256百万円 輸入額:24,054百万円
(輸出:対前年同月比0.9%減、対3ヶ月前比10.9%増
輸入:対前年同月比60.9%減、対3ヶ月前比7.1%減)



2月輸入額
24,054百万円

2月輸出額
14,256百万円

※矢印判定基準
↑:輸出入ともに対前年同月比5%以上プラスかつ対3ヶ月前比プラス
↓:輸出入ともに対前年同月比マイナスかつ対3ヶ月前比マイナス
→:それ以外

※貿易収支 2月 △ 9,798 百万円

(出典)名古屋税関「管内貿易概況」

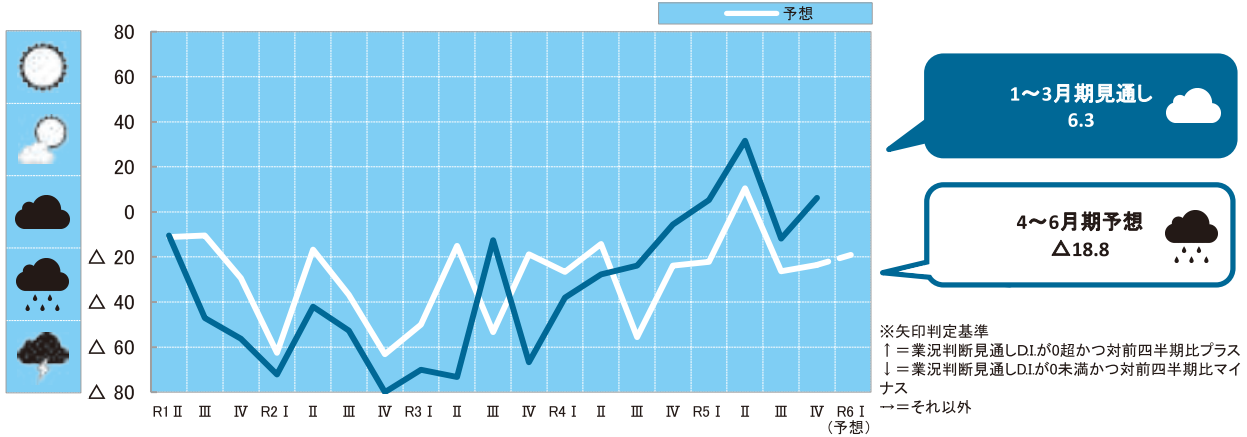


※矢印判定基準：知多半島業況判断見通しD.I.(飲食・宿泊業)に準じる



◇中小企業業況感 (知多半島業況判断D.I.)(飲食・宿泊業)

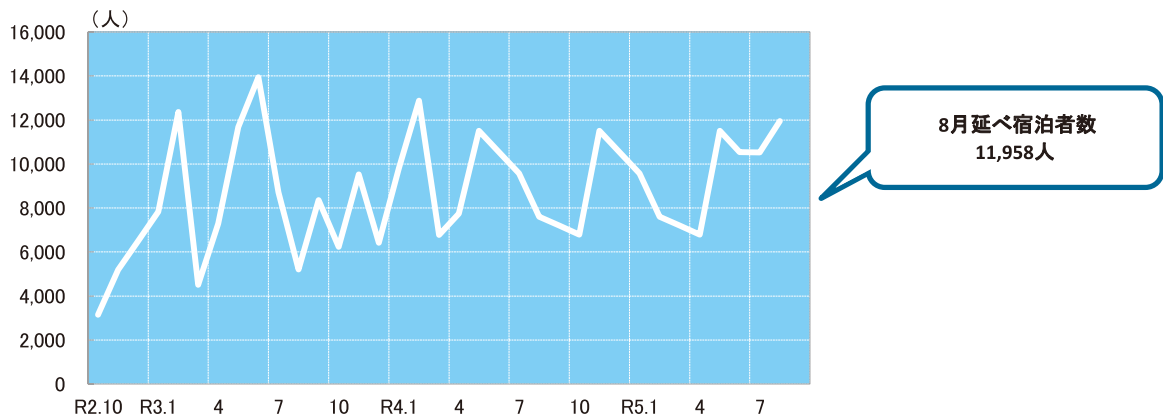
※ 矢印判定基準数値 1～3月期 知多半島業況判断見通しD.I.: 6.3
(0超、対前四半期比18.1ポイント増)



当金庫によるアンケート調査結果「知多半島業況判断D.I.」



◇月間延べ宿泊者数 (従業者数10人以上)(南知多町)

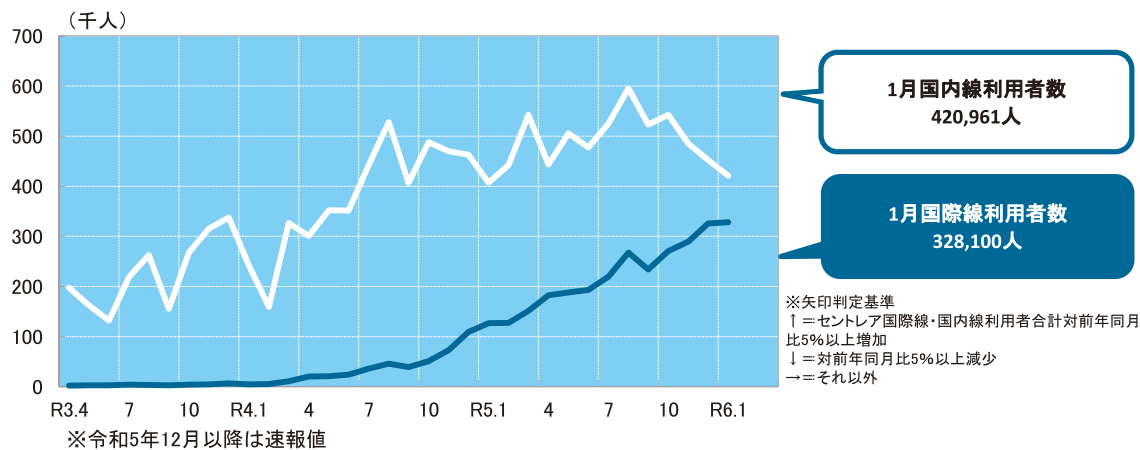


(出典)観光庁「宿泊旅行統計調査」



◇セントレア利用者数

※ 矢印判定基準数値 1月 セントレア国内線・国際線利用者合計 749,061人(対前年同月比40.3%増)



(出典)中部国際空港(株)「中部国際空港実績一覧」

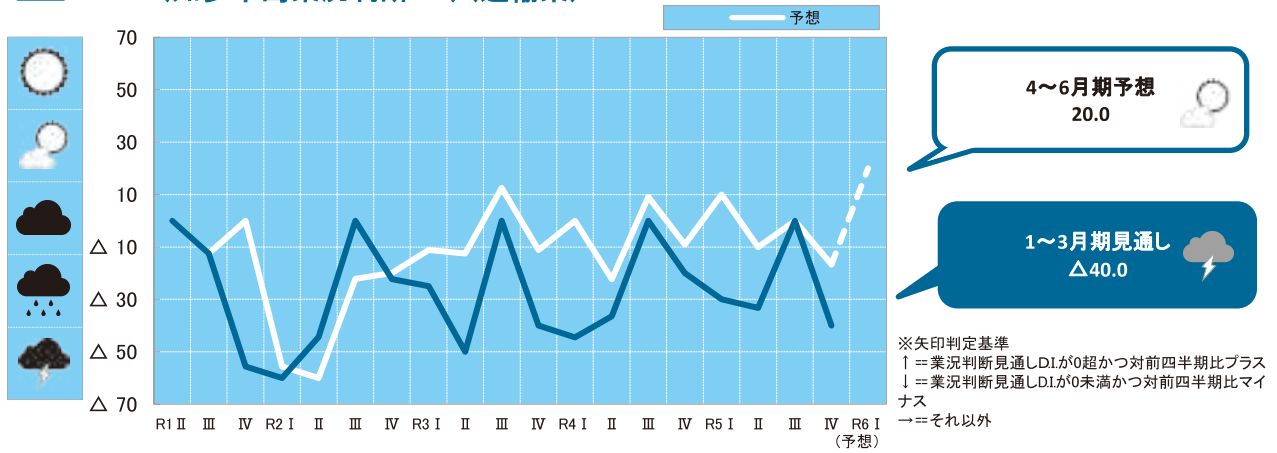


※矢印判定基準：知多半島業況判断見通しD.I.(運輸業)に準じる



◇中小企業業況感 (知多半島業況判断D.I.)(運輸業)

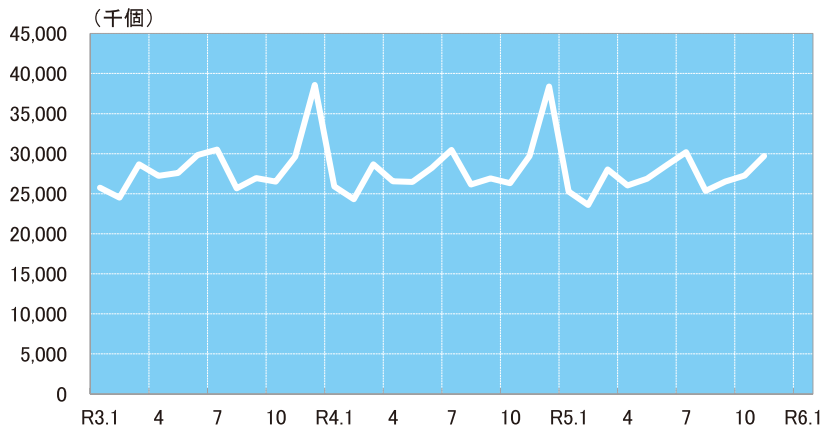
※ 矢印判定基準数値 1～3月期 知多半島業況判断見通しD.I.: $\Delta 40.0$
(0未満、対前四半期比40.0ポイント減)



当金庫によるアンケート調査結果「知多半島業況判断D.I.」



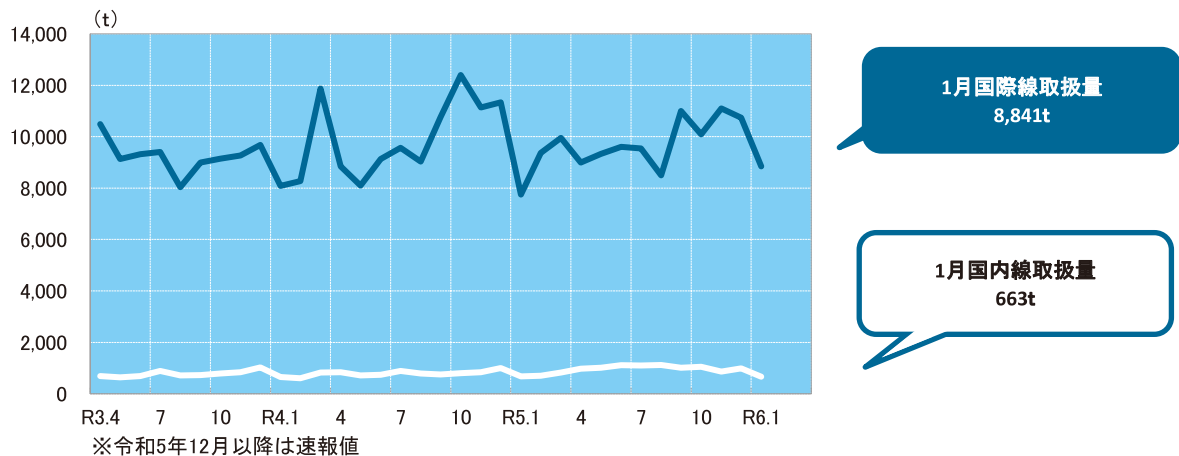
◇トラック宅配便取扱個数 (中部運輸局内主要7社合計)



(出典)国土交通省中部運輸局「中部地方における最近の運輸の動き」



◇空港貨物取扱量(セントレア)



(出典)中部国際空港(株)「中部国際空港実績一覧」

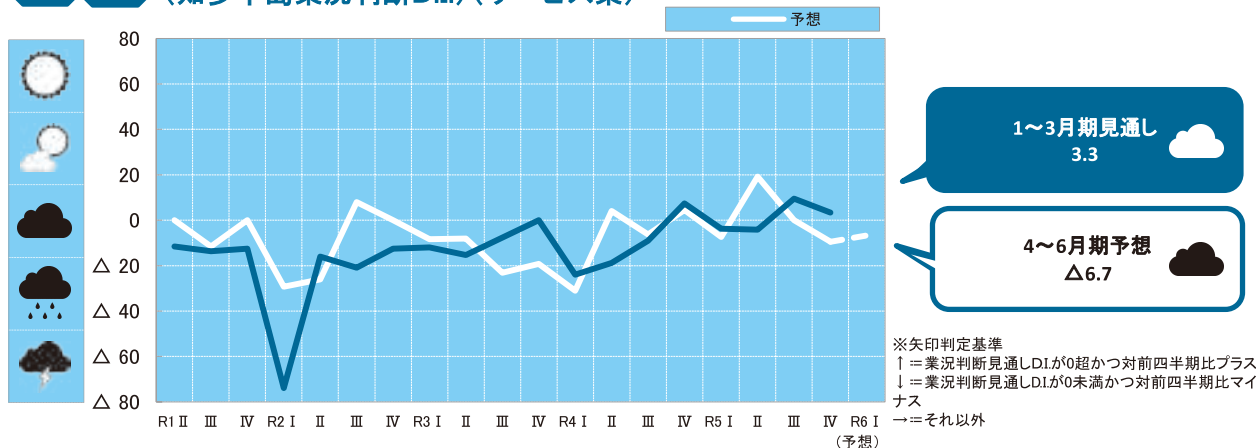


※矢印判定基準：知多半島業況判断見通しD.I.(サービス業)に準じる



◇中小企業業況感 (知多半島業況判断D.I.)(サービス業)

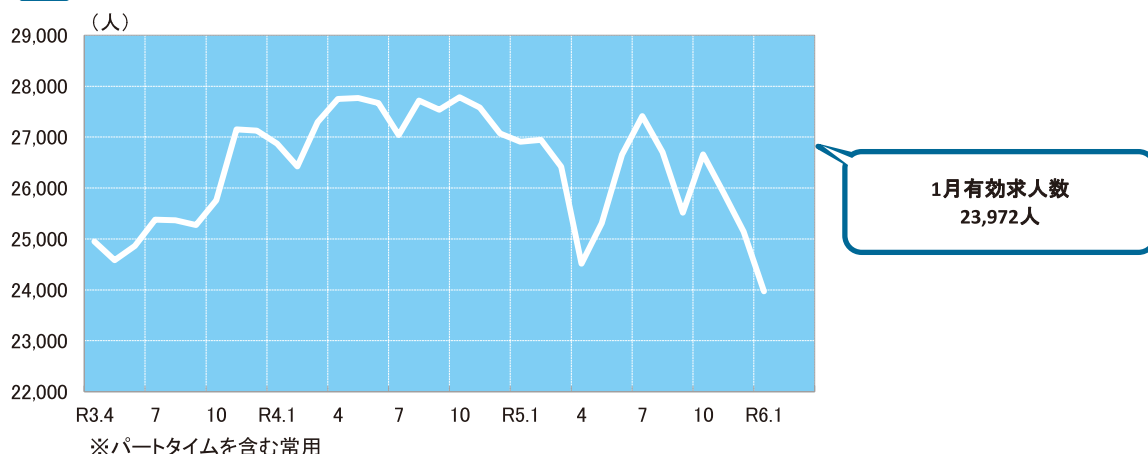
※ 矢印判定基準数値 1～3月期 知多半島業況判断見通しD.I.: 3.3
(0超、対前四半期比6.2ポイント減)



当金庫によるアンケート調査結果「知多半島業況判断D.I.」



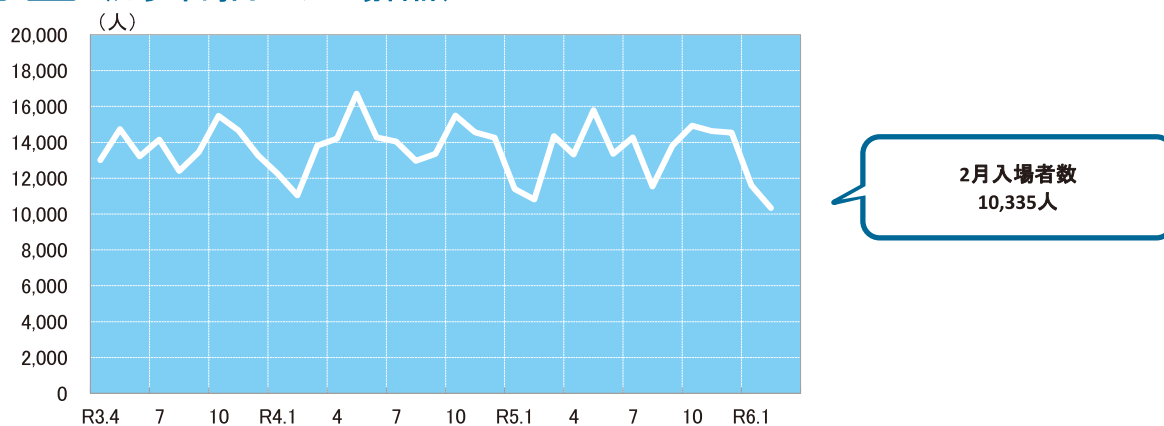
◇サービスの職業有効求人人数(愛知県)



(出典)愛知県労働局「求人・求職バランスシート」



◇ゴルフ場入場者数 (知多半島内3ゴルフ場合計)



新南愛知カントリークラブ、知多カントリー倶楽部、半田ゴルフリンクス(50音順)入場者合計

日本福祉大学経済学部 鈴木健司

スタートアップ企業は、一般に創業間もない企業のことを言いますが、起業・創業も含めて使われる場合があります。今回は、スタートアップ企業や起業・創業を厳密に区別せずに、わが国の状況や、それら企業が誕生しやすい地域の特徴を紹介します。

●なぜ起業・創業を支援、スタートアップ企業を育成するのか

2022年11月に政府は、スタートアップ企業を育成することを目的に「スタートアップ育成5か年計画」を策定しました。これまでも政府はスタートアップ企業を育成するために様々な取り組みをしてきましたが、今回の計画は、より総合的に進め、スタートアップ企業への投資額を5年で10倍にするという目標を掲げています。

政府がスタートアップ企業を育成する理由は、経済の活性化の視点にあります。雇用や新たな市場を生み出すのは企業です。ところで、そもそも企業は社会課題の一部をビジネス的に解決するという機能も有しています。そのため、起業・創業の支援、スタートアップ企業の育成を行い健全な企業を輩出することは、経済だけでなく、広く社会の福祉にとっても有益です。このことも政府がスタートアップ企業を育成する理由の一つです。

●GEM調査におけるわが国の起業状況

わが国の起業・創業は世界的にみてどのような状況なのでしょう。国別の起業活動の調査としてGEM調査（グローバル・アントレプレナーシップ・モニター調査）があります。同調査では、TEAと呼ばれる総合起業活動指数を報告しています。

TEAは、現在、新しいビジネスを始めようとしていること、過去12カ月以内に新しいビジネスを始めるための具体的な活動を行っていることなどの条件に該当する起業家予備軍、または新規事業のオーナー経営者を聞き取り、18歳から64歳までの人口に対する新規事業のオーナー経営者の割合として算出します。わが国は、起業活動の少なさが指摘されていますが、近年、TEAは増加傾向にあります。しかし、他国のTEAとくらべると、わが国の起業活動の状況は低いと言えるでしょう。

表1 各国のTEA（総合起業活動指数）

年	日本	韓国	中国	アメリカ	イギリス	フランス	ドイツ	スウェーデン
2023	—	10.23	6.82	14.71	11.76	10.75	7.69	9.25
2022	6.35	11.90	5.98	19.19	12.89	9.16	9.09	9.09
2021	6.27	13.39	—	16.52	12.58	7.70	6.91	8.97
2020	—	13.00	—	15.40	7.80	—	4.80	7.30
2019	5.35	14.94	8.66	17.42	9.34	—	7.63	8.25
2018	5.34	14.65	10.39	15.59	8.24	6.13	4.97	6.82
2017	4.68	12.98	9.87	13.64	8.40	3.92	5.28	7.29

（出典）Global Entrepreneurship Monitor webサイトより。表にある「—」は調査未実施。

●起業・創業、スタートアップ企業の多い地域

起業・創業、スタートアップ企業が多い地域の特徴について、産業組織論、都市経済学、経済地理学などの分野で多くの研究がなされています。それら研究の一部を紹介します。

・集積

企業が生まれやすい地域の特徴の一つに、経済活動が空間的に集中している集積があります。企業が集積している地域では、労働者、特に熟練労働者を集めやすく、企業の生産に必要な部品やサービスも調達しやすくなります。さらに、企業内にある生産技術が企業間取引によって他企業にも広がることで新規参入する企業が増えると考えられます。欧米の地域を対象にした研究では、雇用密度（雇用者/人口）が高い地域、企業の研究開発費が多い地域、研究開発者が多い地域、多様な産業が多い地域は、新規企業・事業所も多いという研究結果があります。

・市場の需要・規模、人的資本

新たに生まれた企業が生産やサービスを販売する商圈、言い換えれば市場の需要・規模も指摘されています。わが国の地域を対象にした研究で、人口密度が高い地域、都道府県GDP成長率が高い地域は、新規開業率（新規事業所数/総事業所数）も高いという結果が報告されています。他にも、高専、短大、大学や研究機関が多い地域は人的資本が豊富であり、新たな企業が生まれやすい要因になることが研究結果で示唆されています。

・失業率、経路依存

他に興味深い研究として、失業率や経路依存があります。失業率が高い地域は経済状況が悪いため新たな企業が生まれる阻害要因になりますが、一方で、働き場所が無いことから起業・創業しようという動機が生まれやすいことも指摘されています。事実、両者とも統計的に成立している結果が報告されています。経路依存性は、過去の経緯や歴史から起業・創業がなされやすいことを意味しています。わが国を対象にした研究では、「相互依存的・協同的な行動特性という歴史的経路依存から現在の起業行動を抑制している傾向がある」と報告されています。また、アメリカを対象にした研究で、歴史的に移民が多い地域、フロンティア経験が多い地域は、一人当たりの新規事業開始件数が多いという結果も報告されています。

●スタートアップ・エコシステムによる起業・創業の支援、スタートアップ企業の育成

起業・創業の支援やスタートアップ企業の育成で近年注目されている概念が、スタートアップ・エコシステムです。経済システムを一種の生態系（エコシステム）として捉え、地域にある金融機関、公的支援、教育研究機関、ビジネス的な中間支援組織などのネットワークを構築し、起業・創業の支援、スタートアップ企業の育成を図ります。生態系という言葉を使っていることからわかるように、地域によってネットワークの構築方法は一つだけではありません。今後、地域経済を活性化するために、スタートアップ・エコシステムをどのように構築していき、企業を誕生させるのか、地域の知恵と工夫が問われます。



よろず相談所

ちたしんよろず相談所って？

当金庫は、地域のお客さまの様々なご相談にお応えするために『ちたしんよろず相談所』を開設しています。

- 各専門分野の担当者が対応いたします。
- 当金庫本部棟2階に専用相談ルームを設置しています。(平日相談)
- よろず相談所でのご相談は無料です。(予約制)
- 相談時間は1回1時間以内になります。

平日のご相談は
9:00▶17:00

当金庫本部棟 2階
半田市星崎町3-39-18

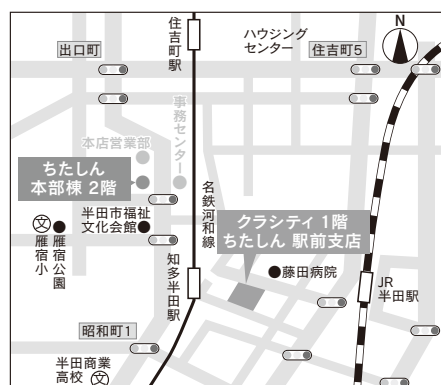
休日のご相談は
9:00▶15:00

(年末年始は除く)

当金庫駅前支店
半田市広小路町155-3
クラシティ1階



8 働きがいも
経済成長も



WEBからのお申し込みは <https://www.chitashin.co.jp/yorozu/>



【よろず相談所に関するお問い合わせ先】営業統括部 地域貢献課 TEL.0569-26-1008

令和6年4月発行



知多信用金庫

ちたしん地域経済レポートに関するお問い合わせ先 : 企画部 調査グループ TEL.0569-26-1015